

# 今年度転入学してきた児童・保護者の感想です。

がっそうれんしゅうがさいしょのころよりも  
ものすごくじょうずになりました。  
こうていではいろいろな生きものが見つけられて  
うれしいです。



1年 女子

転入してよかったことは  
稲刈りや田植え、どんど焼など  
いろいろな体験ができることです。  
また、少人数なので  
授業でいっぱい発表できることです。



4年 女子

羽生田小にきてから、  
今までより元気が出てきました。  
羽生田小のみんなは、とてもやさしくて  
よかったなと思いました。



4年 女子

送迎は大変ですが、  
子どもが学ぶのには  
とてもよい環境だと思いました。  
羽生田小に来て、もっと学校が楽しく  
大好きになったそうです。  
校長先生はじめ多くの先生方と毎日たのしく  
おしゃべりできる学校なんて、親である私も  
羨ましいです。また放課後子ども教室や学童に  
とても助けられています。  
目をキラキラさせて元気に登校しているので  
これからも応援していきたいと思えます。



オープンスクール参観時は、  
人間力が高まると直観し、  
入学させたいと強く思う一方、  
少人数なので不安や心配もありました。  
入学を決心して、半年で子どもたちの  
性格にも変化が出ています。  
勉強に対する好奇心の向上、体力 思いやり  
責任感など今までより  
明らかに一回り大きくなっています。  
ただただ感謝しかありません。



毎日の活動の様子は、本校のホームページでご覧いただけます。

## 壬生町立羽生田小学校

壬生町大字羽生田2139-1

TEL 0282-82-1022

FAX 0282-82-8410



いつでもお気軽に  
お問合せください。

壬生町内全域から通える小規模特認校

# 仲間と共に、一人ひとりが伸びる、輝く！

# 羽生田小学校



羽生田小学校は

児童が安心して過ごせる学校  
一人ひとりの力を伸ばせる学校  
仲間との絆が深まる学校です。





# 放課後子ども教室

週に2~3日、子どもたちが様々な体験をする「放課後子ども教室」があります。



バランス感覚がむずかしい  
スラックラインに挑戦!



料理教室で  
おいしいスイーツ作り。



英語教室は、  
ゲームの進行もすべて英語!



みんなで楽しく  
おもしろ工作タイム

# はねっ子児童クラブ

令和元年度に開設された新しい学童施設です。  
羽生田小の空き教室を利用した施設で、定員は25名、  
平日は下校時から午後6時、  
夏休みや休日は午前8時から午後6時まで  
預けることができます。  
詳細は壬生町役場こども未来課にお問い合わせください。



# 小規模特認校 Q&A

Q 入学資格を教えてください。

A 町内在住の小学生で、通常学級の生活や学習に適応できることが条件となります。

Q 中学校への進学はどうなりますか。

A 壬生中学校、南犬飼中学校のどちらも選択できます。

Q 通学は、どのようになりますか。

A 保護者の責任および費用負担でおこなっていただきます。

Q 事前に見学したいのですが。

A 随時、参観可能ですので、直接羽生田小学校にお問い合わせください。

Q 転入学の手続きは、どのようにすればよいのですか。

A 壬生町学校教育課に「就学申請書」を提出していただきます。「就学申請書」は、町HPからダウンロードできます。

Q 申請の期間を教えてください。

A 入学前年の11月1日から12月28日までです。上記の期間を過ぎて申請される場合は、壬生町学校教育課にご相談ください。

## 羽生田小は こんな 学校です!



羽生田小では、ひとりひとりを大切に、きめ細かい指導を行っています。

何が、その子に必要か。



その結果、ひとりひとりがそれぞれの力を伸ばすことができます。

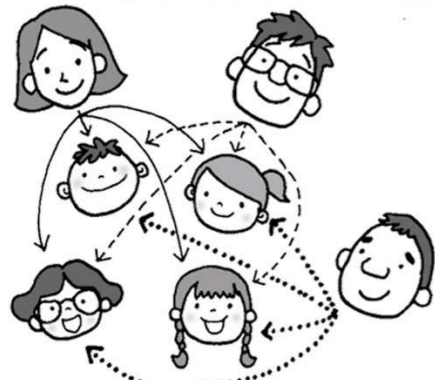
ふだんの生活の中でも、先生の目は、すみずみまで行き届きます。



子どもの変化をみのがさずすばやく対応してくれます。



だから、子どもたちは無意識に「先生たちが、自分をみてくれてる。」という安心感の中で生活しています。



さらに羽生田小では、学年をこえて、いっしょに様々な活動を行います。



異年齢で協力する中で、大きい子は小さい子を気づかい



小さい子は大きい子を信頼し尊敬します。



そんな環境の中で、子どもたちの育つのは「自信」や「自己肯定感」です。

先生が見てくれる自分  
やさしくしてもらえる自分  
信頼される自分  
立派に役に立つ自分



価値ある存在。  
他にうもれない自分。

そして三十年の伝統がある「全校合奏」

一年生から六年生まで、全員でひとつの音楽をつくりあげます。



みんなが目標に向かって心をひとつにがんばるこの活動は...

羽生田小出身の子は

という子がほとんどです。

壬生中学校に入るといきなり人数がふえるので、羽生田小の子は萎縮してしまうのでは?と、思われがちですが、むしろ、その逆に



役割をひきつづけること、人前に出ることに慣れてるので



それがそのまま、中学校生活にも活かされている様子です。

